

工業標準化事業表彰および IEC1906 賞の受賞について

2018年10月4日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所の職員が、工業標準化活動に貢献のあった個人および組織を表彰する「平成30年度工業標準化事業表彰 国際標準化奨励者（産業技術環境局長表彰）」、並びに IEC（国際電気標準会議）が行う電気・電子技術の標準化活動に大きく貢献した人を表彰する「2018年 IEC 1906 賞」を受賞しましたのでお知らせします。表彰式は、いずれも10月2日（火）東京都千代田区内のホテル（都市センターホテル）において行われました。

記

○平成30年度工業標準化事業表彰 国際標準化奨励者（産業技術環境局長表彰）

受賞者：軌道技術研究部 軌道構造 主任研究員 でしまるただし 弟子丸 将

【主な業績】

レール締結装置に関する研究者として、日本の締結装置の考え方や欧州規格と日本の試験方法の相違点等をまとめ、ISO（国際標準化機構）/TC 269（鉄道分野専門委員会）/SC 1（インフラストラクチャ分科委員会）/WG 7（締結装置）においてエキスパートとして国際規格への反映に尽力。日本の鉄道産業界に貢献をただけでなく、今後もさらなる活躍が期待される。

○2018年 IEC1906 賞

受賞者：鉄道国際規格センター 担当部長 まつむら ひろゆき 松村 泰幸

【主な業績】

IEC/TC 9（鉄道用電気設備とシステム専門委員会）において、鉄道車両の電気品について基本的な性能を定める規格（IEC 60077）の改訂をコンビーナ（国際主査）として主導し、第1部（一般使用条件及び一般規則）及び第2部（開閉機器・制御機器及びヒューズの一般規則）を2017年に発行した。



国際標準化奨励者 弟子丸 将



IEC1906 賞 松村 泰幸